

正誤表

『実力心電図一「読める」のその先へ』および『実力心電図一「読める」のその先へ 〈改訂版〉』につきまして、下記の誤りがございました。謹んでお詫びし、訂正させていただきます。

※正誤表の更新につきましては、<http://new.jhrs.or.jp/book/book-seigohyo/>をご確認くださいますようお願い申し上げます。

頁	箇所	誤			正									
63	図39「誘導の方向」	誘導名	CM ₅	CC ₅	NASA	誘導名	CM ₅	CC ₅	NASA					
		電極位置				電極位置								
		陽極(+)	V ₅	V ₅	胸骨下端(剣状突起)	陽極(+)	V ₅	V ₅	胸骨下端(剣状突起)					
		陰極(-)	胸骨上端	V _{5R}	胸骨上端	陰極(-)	胸骨上端	V _{5R}	胸骨上端					
		類似誘導	V ₅ またはII	V ₅	V ₁ またはaVF	類似誘導	V ₅ またはII	V ₅	V ₁ またはaVF					
		誘導の方向	X	X	Z	誘導の方向	X	X	Y					
		長所	①V ₅ と近似で波形が大きい (V ₅ の1.5倍) ②虚血の診断(ST下降, 上昇)に優れている ③P波の認識が比較的良好	①V ₅ との近似性に優れる ②体位の影響が少ない ③最も純粋にX軸方向の評価ができる ④虚血の診断(ST下降, 上昇)に優れている	①V ₁ に近似でP波の認識が良好である ②不整脈の分析に優れている ③体動による基線動搖や筋電図の混入が少ない	長所	①V ₅ と近似で波形が大きい (V ₅ の1.5倍) ②体位の影響が少ない ③最も純粋にX軸方向の評価ができる ④虚血の診断(ST下降, 上昇)に優れている ③P波の認識が比較的良好	①V ₅ との近似性に優れる ②体位の影響が少ない ③最も純粂にX軸方向の評価ができる ④虚血の診断(ST下降, 上昇)に優れている ③P波の認識が比較的良好	短所	①偽性ST下降が見られやすい ②Y軸方向成分も含まれる	呼吸による基線変動が大きい	体位、個人差による波形変化が大きい	短所	①偽性ST下降が見られやすい ②Y軸方向成分も含まれる

(2026年1月9日 日本不整脈心電学会)